

桜島の噴火に伴う有村川の緊急除石について



平成20年2月3日15時54分の噴火



平成20年2月6日11時25分の噴火

○2月3日10時18分、15時54分に昨年6月以来の爆発的噴火が昭和火口で発生、その後、2月6日11時25分にも爆発的噴火が発生
 →「桜島の噴火警戒レベルがレベル2(火山周辺規制)からレベル3(入山規制)へ」

<国土交通省における火砕流堆積物等への対策>

- 2月11日【準備工】避難シェルターの設置等
- 2月12日【準備工】搬入路の設置等
- 2月13日～【緊急除石工】有村川1号えん堤除石等
- 2月15日～【緊急除石工】無人化施工による除石開始



【避難シェルター】

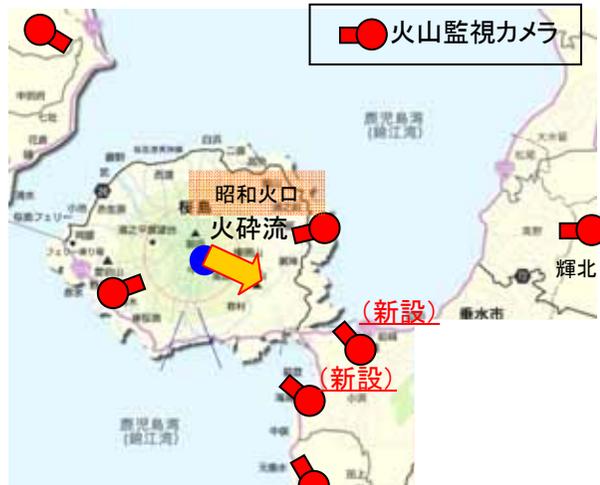
・危険を伴う箇所において無人化施工による除石を実施

<これまでの国土交通省の対応>

- <2月4日>
 - ・国土交通省九州地方整備局と気象庁福岡管区気象台がヘリによる調査を実施
- <2月8日>
 - ・京都大学防災研究所火山活動研究センターのヘリによる調査を支援
- <2月12日>
 - ・桜島を監視する為のカメラを新たに2基設置し、合計7基による監視を実施
- <2月13日>
 - ・(独)土木研究所土砂管理研究グループのヘリによる調査を支援



2月13日調査時の火砕流の状況



有村川除石状況【2月14日】



有村川下流

「桜島 有村川の緊急除石工事」について ～無人化施工による緊急除石～

- 有村川上流に堆積した火砕流堆積物が降雨等の影響により流下する恐れがあることから、有村川1号えん堤の緊急除石を行い、安全性を確保
- 危険が及ぶ可能性のある箇所においては、無人化施工を行い、作業員の安全を確保しつつ、早期の緊急対策の完了に努める

○作業員の安全を確保しつつ早急な除石を行う必要があることから、国土交通省の九州技術事務所よりに配備している。
無人化施工機械(ロボQ)を桜島へ派遣
※2月15日に桜島に到着し掘削作業を実施

